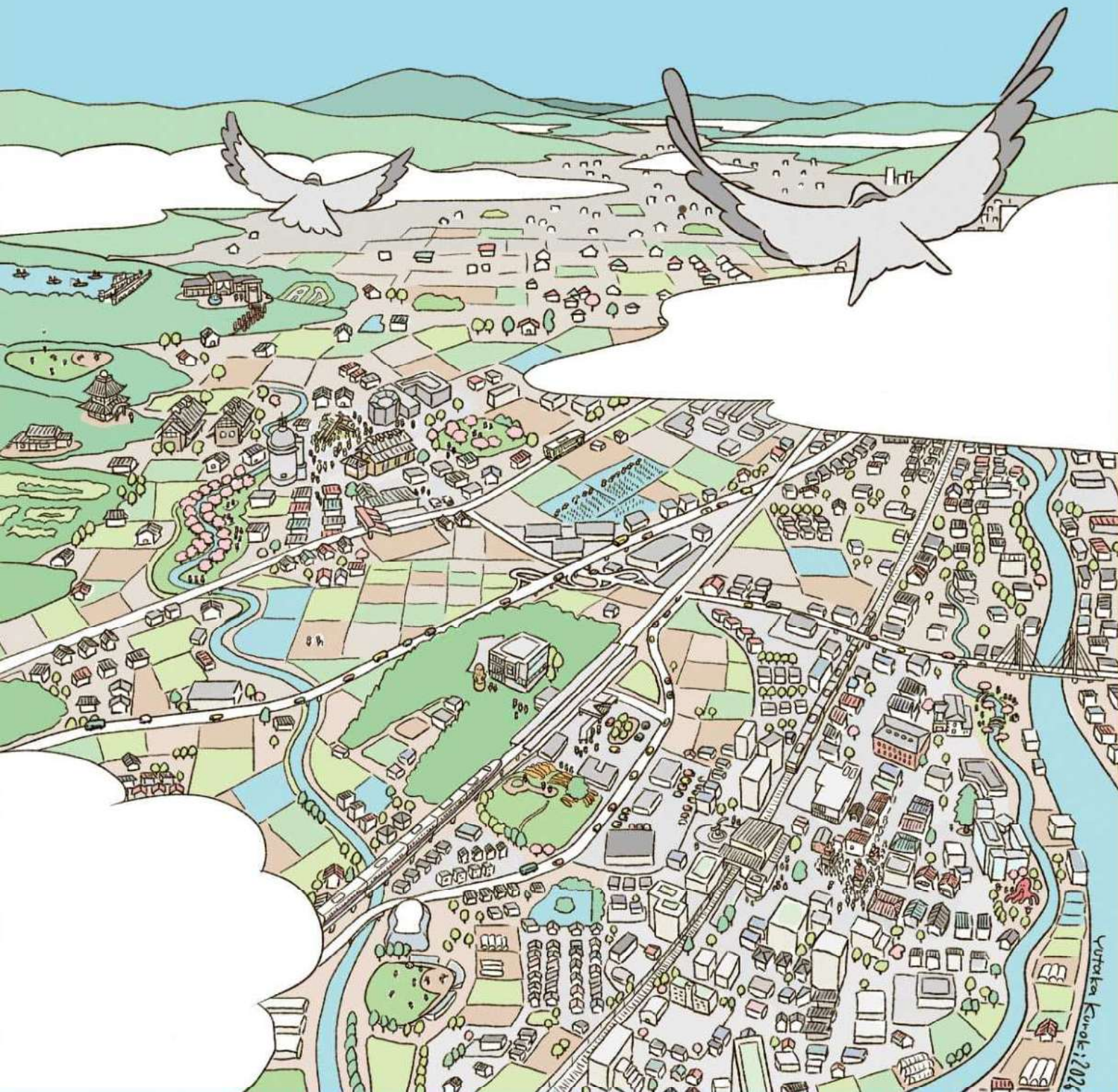
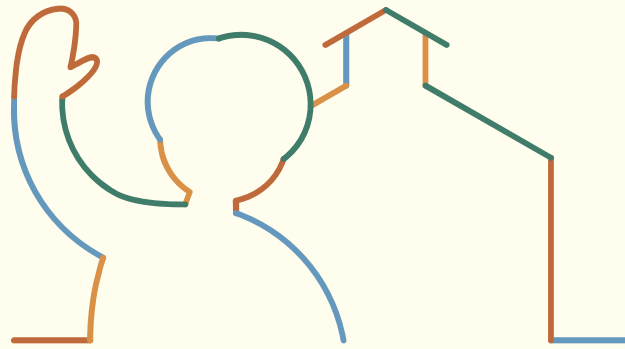


どこにでも行けるけど、
ここにいたい。

暮らしが選べる本庄市





どこにでも行けるけど、 ここにいたい。本庄

おいしいお米や野菜がとれる肥沃な土壌

雄大に流れる川や山々に囲まれて、

ゆったりと暮らしながらも

高速道路や交通アクセスの良さで

仕事にも遊びにもとっても便利

見上げる空も心地いい

これまでも、そして、これからも

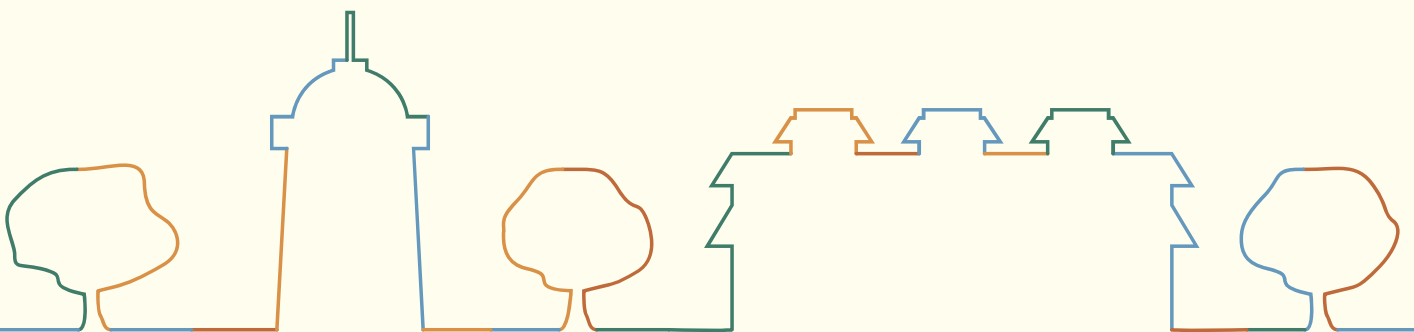
皆さんのそれぞれの大切にしたい

ヒト・モノ・コトがある。

そんな皆さんの思いが込められた

このブランドメッセージ。

あなたにとっての、「ここにいたい」は何ですか？



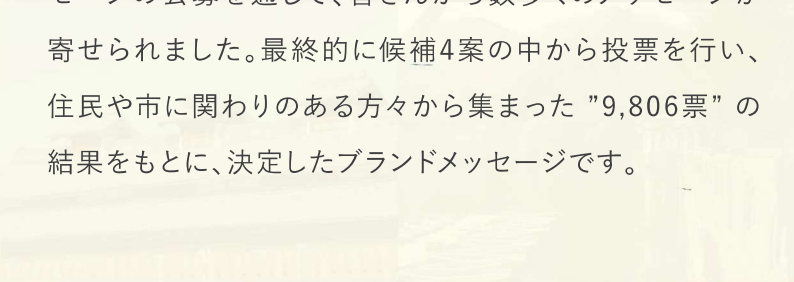
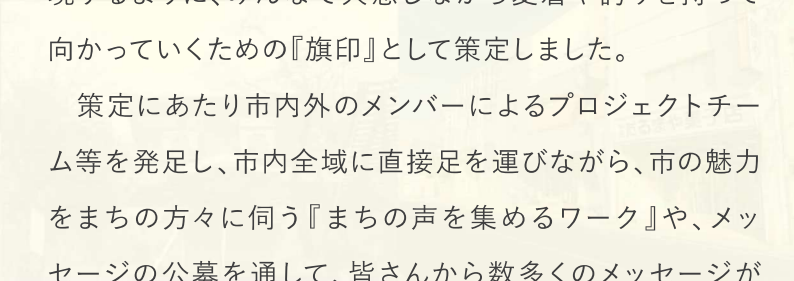
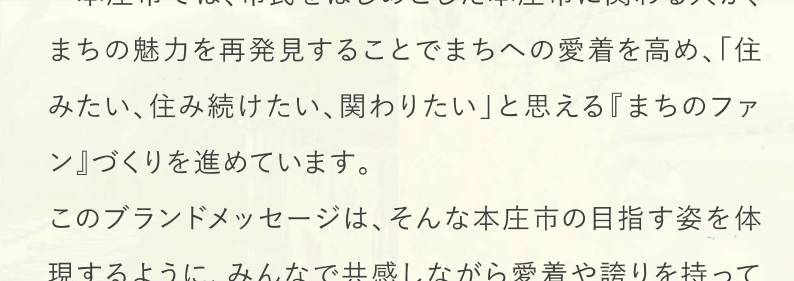


ブランドメッセージに 込められた想い

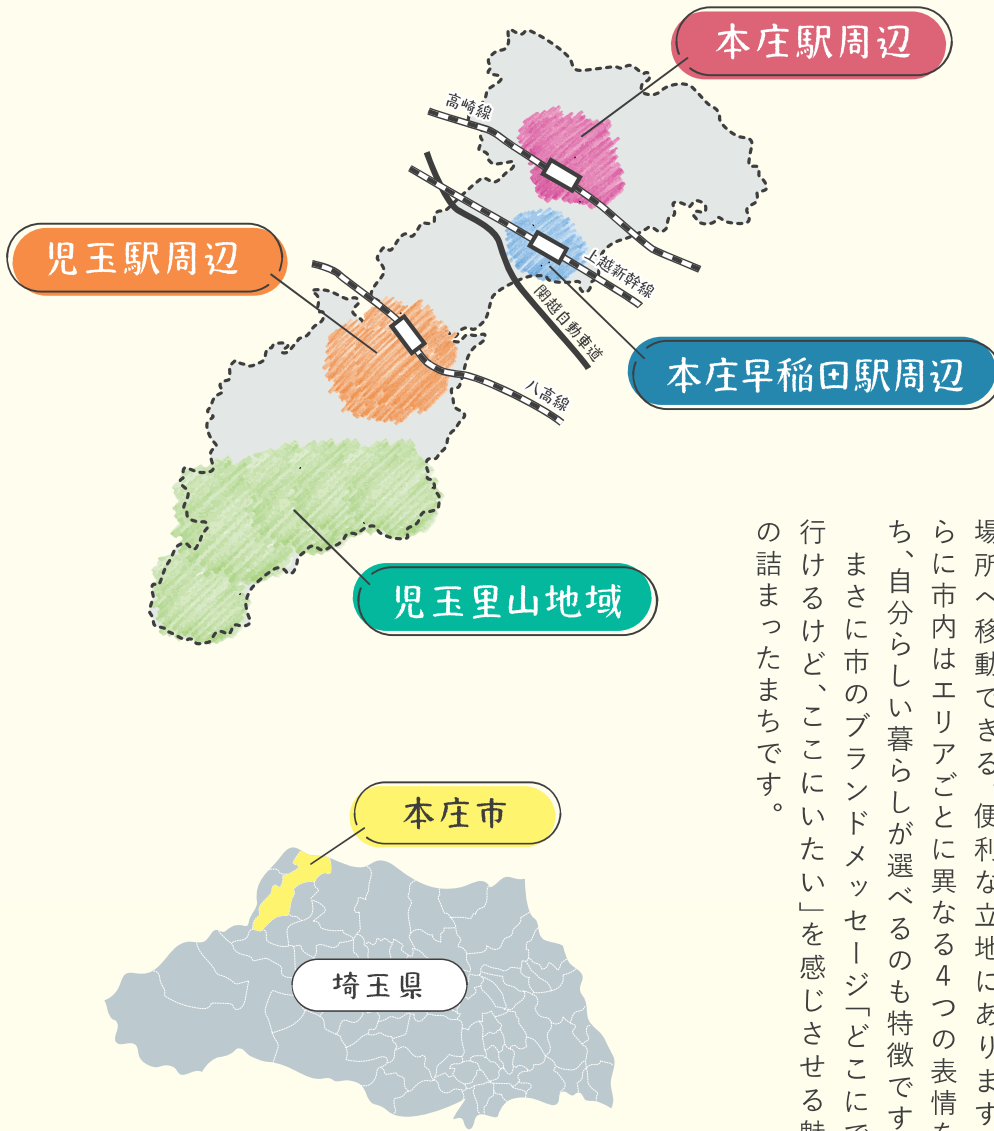
本庄市では、市民をはじめとした本庄市に関わる人が、まちの魅力を再発見することでまちへの愛着を高め、「住みたい、住み続けたい、関わりたい」と思える『まちのファン』づくりを進めています。

このブランドメッセージは、そんな本庄市の目指す姿を体現するように、みんなで共感しながら愛着や誇りを持って向かっていくための『旗印』として策定しました。

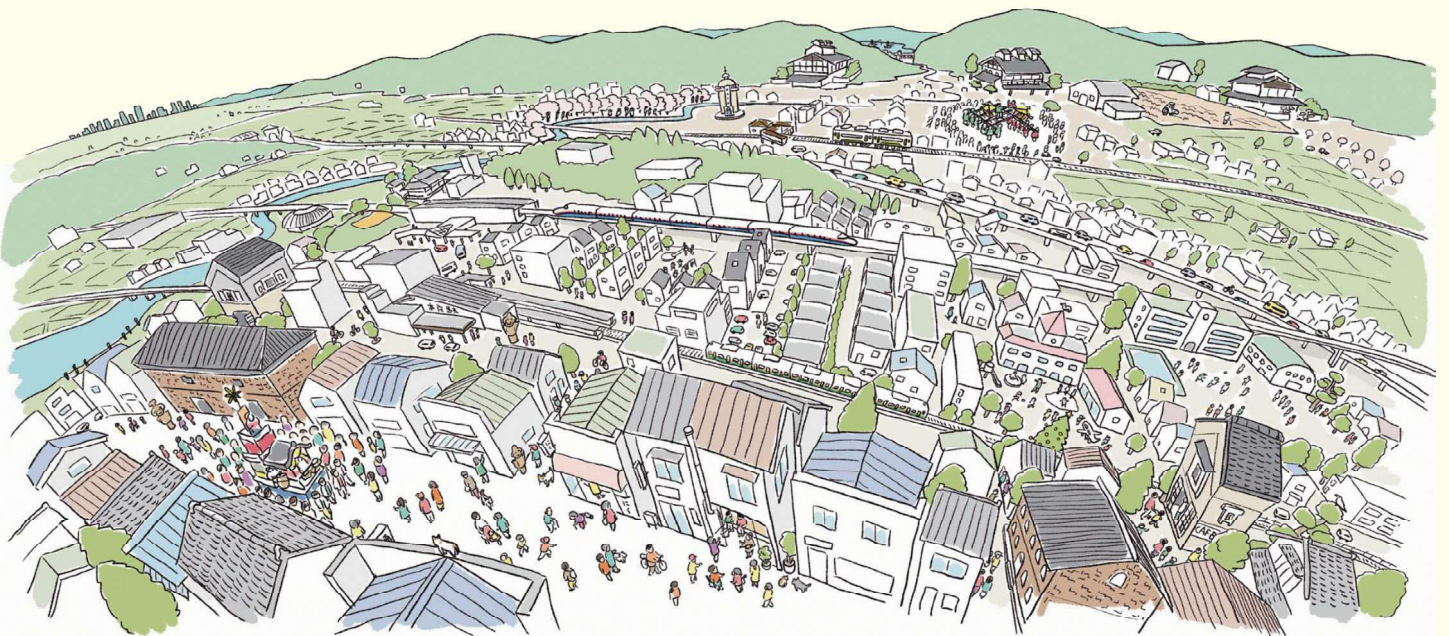
策定にあたり市内外のメンバーによるプロジェクトチーム等を発足し、市内全域に直接足を運びながら、市の魅力をまちの方々に何う『まちの声を集めるワーク』や、メッセージの公募を通して、皆さんから数多くのメッセージが寄せられました。最終的に候補4案の中から投票を行い、住民や市に関わりのある方々から集まった“9,806票”の結果をもとに、決定したブランドメッセージです。



埼玉県本庄市ってどんなところ？



埼玉県の北西部に位置する本庄市は、新幹線で東京駅まで約45分、JR高崎線に乗れば都心の主要駅にも直通で出られます。高速道路のICもあり、本庄を拠点に北へ南へ、電車でも車でも様々な場所へ移動できる、便利な立地にあります。さらに市内はエリアごとに異なる4つの表情をもち、自分らしい暮らしが選べるのも特徴です。まさに市のブランドメッセージ「どこにでも行けるけど、ここにいたい」を感じさせる魅力の詰まったまちです。





Honjo
Waseda
Area

本庄早稲田駅周辺

P.10-13



新幹線駅を中心に洗練された街並みの
本庄早稲田駅周辺



Honjo
Area

本庄駅周辺

P.06-09



旧中山道最大規模の宿場町だった面影を
残す本庄駅周辺



Kodama
Satoyama
Area

児玉里山地域

P.18-21



自然豊かな里山風景が広がる児玉里山地域



Kodama
Area

児玉駅周辺

P.14-17



古くから続く歴史文化と人情味あふれる
児玉駅周辺



アクセス情報

電車の場合



- ・東京駅からJR(高崎線)で約90分
- ・東京駅から新幹線で約45分

車の場合



- ・練馬ICから車で約45分

公共交通情報は
こちら



市内の移動手段は、路線バスやコミュニティバス「はにぼん号」が充実しています！
市内に400ヶ所以上の停留所がある「はにぼん号」を使えば、市内全域を巡れます。

本庄駅周辺



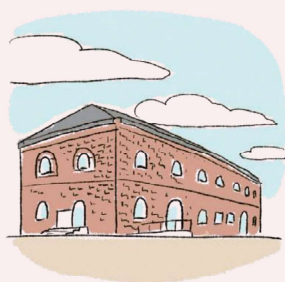
歴史と新たな賑わいが
交差する本庄の中心地

旧中山道最大規模の宿場町として栄えた本庄駅周辺は、埼玉北部の玄関口として歴史が息づくエリア。

歴史的建造物が点在する一方、蔵や古民家を活用したカフェや飲食店が新たな賑わいを見せています。

夏と秋に開催されるお祭りも一見の価値あり！

古き良き情緒と現代の活気が溶け合う魅力溢れるまちの中心地です。





1

若泉運動公園

多目的グラウンドやテニスコート、ランニングコースなど運動施設が充実しており、スポーツに散歩に、老若男女が楽しめます。水遊びが楽しめる「せせらぎ広場」や遊具が豊富な「ゆうぱーく」など、家族連れの定番スポットです！

住所：本庄市小島6丁目14



2

本庄銀座ブルワリー

本庄駅北口から徒歩5分。銀座通り商店街で一際注目を集める、クラフトビール醸造所と併設の飲食店。地元出身の店主が仕込む、本庄産の硬水を使ったビールは飲みごたえとキレを兼ね備えた自慢の味。美味しい料理も楽しめます。

住所：本庄市銀座1丁目9-23



3

W@nder Fabric(ワンダーファブリック)

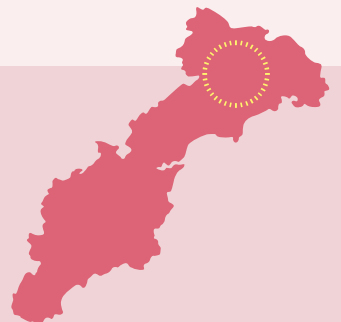
国登録有形文化財になっている旧本庄仲町郵便局の建物を活用し、工房と店舗を構える「W@nder Fabric」。日本伝統織物を使用した帽子の製作と販売を通して、本庄や建物のこと、日本伝統織物の歴史を伝えています。

住所：本庄市中央1-8-2



こんな暮らしが叶う！

- ・代々続く個人店が軒を連ねる商店街で、まち暮らしが楽しめる
- ・市役所や本庄ガスECOはにぼんプラザなど、市民が集える公共施設が充実
- ・マーケットなどのイベントが定期的開催され、休日も満喫できる





久米原農園
久米原 美幸さん

シロップのような甘さに、絶妙な酸味。埼玉県の新品種のいちご「あまりん」を一大ブランドへと押し上げた立役者の一人が、本庄市の久米原農園です。8代目となる久米原美幸さんは、一度食べた時の美味しさに感動した「あまりん」に人生を賭けることを決意。けれど、埼玉「いちごの産地」という知名度もない中で、高値のいちごを売ることは簡単ではありませんでした。「食べてもらえればわかる」と信じ、味の向上に取り組みむだけでなく、あまりんを適正に売るための努力を続けた久米原さん。最初からブランド価値を落とさないため、市場でも「この値段でなければ売らない」と値引きもしない。高級感が伝わるように、イチゴゴッぽさのないパッケージをデザインナーに依頼。シックな色合いの箱に「Kumehara」と流れるような書体のアルファベット表記で、味と価格に相応しい久米原農園オリジナルの化粧箱が出来上がりました。戦略に基づく地道な努力を重ねるうちに、状況は徐々に変化。高級果物店へ直接持ち込んだところ、その場で美味しさが認められ取引が即決。さらに、有名パティシエにテレビやSNSで紹介されるなどの流

”誰もやっていないことをやりたい”
開拓者精神で、まちのブランドを作り上げる

れが生まれ始め、久米原農園の「あまりん」は一躍注目を浴びることに。同時に、日本野菜ソムリエ協会による第3回全国いちご選手権にて最高金賞を取るなど、いちご農家としての地位を確固たるものにし、「あまりん」自体のブランドも確立させることに成功しました。

「誰もやっていないことをやりたい」。熱意の原動力を、久米原さんはそう話してくれました。すでに次の新品種「べにたま」にも着手し、第3回クリスマスいちご選手権では「べにたま」で最高金賞を受賞。近年は、後に続いて学びたいという未経験の若者を自園に受け入れ、給与を払いながら技術指導も行っています。独立後も困った時はいつでも助けると話す久米原さん。兄貴肌で、埼玉の農業の未来、本庄の未来を育てています。

久米原農園
本庄市堀田555-2(完全予約制)
※直売所はありません。LINEにて問合せください。

📱 kumehara_farm





本庄パン処 麦と豆
宇田亨さん

”本庄の魅力は人”
関わりをエネルギーに、商店街に種をまく

本庄駅北口、銀座通り商店街の入り口に位置する、「本庄パン処 麦と豆」。10年前に移住したオーナーシェフ宇田亨さんは、この道50年の大ベテラン。日本のパン文化を支える生き字引のような人です。千葉で1日1000人近くのお客さんが訪れる店舗経営をした後、ベーカリーアドバイザーとして日本中を回ります。その中で、仕事で本庄市内のパン屋の立ち上げに携わった際に、パン作りに理想的な地だと感動していた北海道の帯広と本庄市の地形や条件が似ていたことから、本庄市への移住を決意。移住後は、本庄ガスECOにはぼんブラザのキッチンスタジオを借りてパン教室を始めた。り、商工会議所や地域団体の集まりなどに顔を出さず中、今の場所の物件が空くことを知ります。幼い頃に育った東京下町の商店街と近しく感じる部分もあり、満を持して店をオープン。けれど、客足が遠のいてしまっている商店街に新店を一つ作っても成り立たないと痛感します。委託販売場所を探しに奔走する過程で、「本庄の魅力は人」だと感じるようになったそう。「ここで売ってみたい」と、まちのひとが幹旋してくれる。自分が外へ出なければ、今のお店も続けられていませ

自分の仕事が生かされているのは、そういう原点があったから」。店名には、今も変わらない宇田さんの願いや決意が込められています。「パンを作る自分だけではなく、周りの人から支えられてこのお店がある」という意味から「麦と豆」、その麦と豆たちがいつも集まる場所にして行きたいという意味で「パン処」。人との関わりが自分のエネルギーだと話す宇田さんは、念願だった商店街の活性化にも踏み出しました。銀座商店連盟の副会長を務め、道路を挟んで向かいの北海亭前の駐車スペースで納涼祭りや餅つき大会などを実施。「チームワークが大事だから、まずは自分がこの核になる」と話す宇田さん。晴れた麦の収穫時期は、いよいよ間近に迫っています。

本庄パン処 麦と豆

本庄市銀座3-1-30
営業時間 8:00~18:00
(木曜定休)

☎ toru.uda



本庄早稲田駅周辺



日常のゆとりと高い利便性が
両立する人気の新興地

2004年に開業した「本庄早稲田駅」を中心に発展したこのエリアは、洗練された街路にカフェやパン屋が並び、季節の花々が楽しめる自然豊かな公園が点在します。

新幹線駅に加え関越自動車道ICも近く、都心や地方へのアクセスも抜群。

高い利便性と心地よく過ごせるゆとりある日常で、快適な暮らしが実現できます。





1

本庄早稲田の杜ミュージアム

本庄市と早稲田大学が共同運営する博物館で、旧石器時代にはじまる本庄市の歴史を考古資料からたどります。本庄市のマスコット「はにぼん」のモデルとなった「笑う盾持人物埴輪」も展示されています。

住所：本庄市西富田1011 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター1F



2

Fri Fre(フリフレ)

フランス語で「フレッシュフルーツ」を意味する「Fri Fre」は、季節ごとに旬の美味しいフルーツが楽しめる矢島農園直営のフルーツパーラー。中でも埼玉県のブランドいちご「あまりん」を使用したスイーツはイチオシです！

住所：本庄市早稲田の杜4-2-2



3

Bakery's Kitchen ohana(ベーカリーズキッチン オハナ)

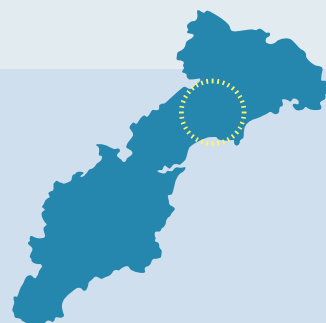
早稲田の杜に本店を置く、人気の石窯パン工房。多種多様な食パン、菓子パン、惣菜パンなど、お店で焼き上げた約120種類以上のパンが並びます。店舗に併設したテラス席ではイトインも楽しめます。

住所：本庄市早稲田の杜4-2-30



こんな暮らしが叶う！

- ・新幹線×高速道路で、都心部への通勤も休日のレジャーも楽々移動
- ・オシャレなカフェから大型商業施設まで、日々の買い物には困りません！
- ・子育てファミリーにも嬉しい充実した施設や広大な公園で、のびのび過ごす





大谷園芸
大谷 美紗さん

地域の魅力を“育て”、“咲かせる”
このまちのお母さん

花卉(かき)農家の多いこのエリアで、ニーズに合わせて年間30品目ほどを取り扱う大谷園芸。お父様から引き継いだ大谷美紗さんが、夫の哲保さんと協力しながら営んでいきます。園芸科のある全寮制の短大に進学し、酪農や果樹野菜など自然に関わる職種を幅広く学ぶ過程で、花に携わる仕事がしたいと考えた美紗さん。プロリストを志して花屋に就職した後、実家を継ぐことを選びました。美紗さんの代になってから始めたことの一つが、直接販売。市場に卸すだけだった11年ほど前、当時ハマっていた多肉植物を販売したいと思いつき、知人が主催していたマルシェへ出店。その場の会話から「こんな植物を作ってみたい」と主軸の生産事業のモチベーションにも繋がり、花屋時代に花束のアレンジメントを学んだノウハウが寄せ植えにも生かされるなど、良い循環が生まれ始めたそう。また、児玉町塩谷の農家・牧野涼子さんとともに農家の存在をPRする「本庄農業女子」としても活動。花の育て方をレクチャーする市民講座の講師や、本庄市のシティプロモーションメンバーとしても活躍の場を広げます。

「いま農家はどこも続けるのが大変でしょ」。農業について語る彼女の言葉には、従業員を抱えながら経営を続けることの重みが滲みます。でも、その表情や語り口は穏やかで楽しいので、こちらが癒されてしまいます。ちなみに美紗さんおすすめの本庄の楽しみ方は「小山川の土手や本庄総合公園で犬の散歩をすること」だとか。愛犬との時間が農業の息抜きになっているそう。

「本庄は住みやすいし、生きる源がここだったのかも。自分たちが住みやすくするために情報発信して、まちを良くして、人を呼んで。子育てもひと段落したし、今度は私たちが次の世代に繋げて継続させていく順番なのかなって」。美紗さんは本庄を咲かせる花であり、お母さんの立場でまちを支えてくれる人なのかもしれません。

大谷園芸
本庄市栗崎1174
@ honjonougyoujoshi






会社員
中里 泰久さん

一市民としてまちに関わりながら、
主体的に暮らしを変えていく

上越新幹線の停車駅である「本庄早稲田駅」を使って都心部に通勤。住まいは適度な自然とアクセスの利便性が高い本庄市におく。そんな選択をする人たちが増えてきています。中里泰久さんもその一人。将来的に自分の両親の介護を考えた時、遠方ではサポートが難しいと埼玉県南部から故郷の本庄市へUターン移住を決めました。交通費は一部自己負担しますが、満員電車の心理的負担や家賃、駐車場などを計算すると、新幹線で通勤しながら本庄市に家を建てる方がメリットが大きいと判断。一度決めたら、欲しい土地の条件を絞り込み、実家に帰省するたびに不動産情報を足で稼いでチェック。現在の土地をほぼ即決で購入し、人気の高いエリアでありながら計画的な行動で理想の住まいを手に入れました。移住後は、以前住んでいた都会のタワーマンションにはない活発な近所付き合いや、町内会での役割、お子さんを通じて生まれた新たなコミュニティへの繋がりがなど、この場所での人間関係に馴染んでいったそう。平日は、食品メーカーの営業職として複雑な交渉やブランド戦

略に日々向き合う中里さん。その専門知識や熱意を本庄の暮らしでも活かしたらと、地域の活動にも積極的です。日々の散歩で感じるまちの変化に気を止めたり、一般消費者として大手スーパーに本庄市への出店を直接打診したり。令和5、6年度に実施されたシティープロモーションのメンバーとしても活動。本庄が推しているブランドいちご「あまりん」のプロモーション戦略や、交通の利便性を活かした市の魅力発信など、次々と出てくるアイデアは止まることを知りません。「ゼロから一を生み出すよりは、一を百とか千にする方が得意」と話す中里さんは、自らのスキルや経験を地域のために役立てたいと語ります。同じく情熱を秘めた市民や市職員とともに、今より明るい本庄市を築いていくために、より一層地域で輝く中里さんが見られる日は、そう遠くないかもしれません。



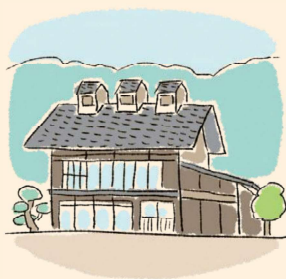
児玉駅周辺



古き良き面影と、
先人たちの知が息づくまち

児玉駅周辺は、盲目の国学者・塙保己一を育んだ歴史と人情が息づくまち。蔵造りの建物や養蚕業の遺構が残る街並みには、先人の知恵や学びが受け継がれ、今を生きる人々の暮らしと調和しています。

関東随一の「けんか神輿」で有名な「こだま夏まつり」をはじめ、季節毎の祭りを通じて、地域の絆や温もりが感じられる場所です。





1 競進社模範蚕室

埼玉県指定文化財で、養蚕技術の改良に尽力した木村九蔵によって明治27年(1894年)に建設されました。九蔵が考案した「一派温暖育」という飼育法に適した構造で設計されています。

住所:本庄市児玉町児玉2514-27



2 雉岡城跡

戦国時代初期に関東管領山内上杉氏により築城され、今でも城内に大規模な土塁や堀が残されている埼玉県指定文化財です。別名「城山公園」とも呼ばれ、約300本のソメイヨシノが咲く桜の名所としても知られています。

住所:本庄市児玉町八幡山446



3 solflows(ソルフローズ)

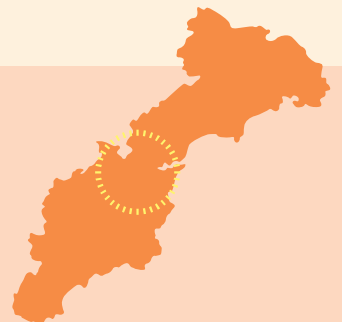
「花・植物と共にライフスタイルを豊かにする」がコンセプトの児玉のシンボリックなフラワーショップ。カフェスペースが併設されており、週末にはマルシェが開かれるなど、植物と共に楽しい時間が過ごせます。

住所:本庄市児玉町児玉 2265-1



こんな暮らしが叶う!

- ・昔ながらの人情味あふれるお店で、ホッと安らぐひとときを過ごす
- ・伝統と歴史ある季節のお祭りに参加して、地域の一員に!
- ・さまざまな史跡を巡れば、新たな発見が見つかるかも!?





だるまや菓子店
町田 圭司さん・莉奈さん

時代が変わる中で、変わらずあり続けるために
親子で繋ぐ、「まちの拠り所」

歴史を感じさせる児玉駅近くの商店街に、大きく「だるまや菓子店」と掲げた看板。懐かしい風情に誘われて中に入ると、ショーケースには長く愛され続けてきた練り切りやどら焼きなどの定番商品、創作和菓子。両側の壁には子どもたちに人気の駄菓子や並びます。「コの字型のカウンターで町田圭司さん・莉奈さん親子が迎えてくれました。

大正10年ごろ創業し、現在の圭司さんで3代目。4代目となる莉奈さんとともに、毎日変わらず手作りの和菓子をお届けしています。莉奈さんは専門学校で学んだ後に、新宿の和菓子店で修行。その後本庄に戻り、学校と現場で学んできた経験やフレッシュな感性をもとに、地元のブランドいちご「あまりん」を使ったどら焼きや、夏でも溶けないアイス「くずバー」など、SNS映えする可愛らしい商品を次々と生み出しています。一方、中央通り商店街の会長も務める圭司さんは、有志の仲間たちと力を合わせて季節ごとのイベントを企画するなど地域の活動も率いています。「うちだけが賑わってもだめ。まちが元気であれば、若い人も帰ってくる」と圭司さん。

先代からお菓子作りを教え

てもらうことはなく、それぞれ一度地元を出て学び、継ぐことを選んだ町田親子。「相手が学んできたことがあるから」と、言い争うことはほとんどないとか。ハレもケも、まちのシーンとともにあり続けてきた店には、今でも「まだあるのね」と懐かしい記憶とともに和菓子を持ち帰るお客さんが絶えないそう。背の低いカウンターのまわりには常連さんが座って話しているように椅子があったり、放課後の小学生がお菓子を買いに来たり、いわばここは昔ながらのコミュニティスペース。「今、小学生の間では氷砂糖が流行ってるみたい。老いも若きもここでは皆、甘いものを前にニコリ顔。看板商品の団子のように、きつとこれからも変わらない素朴な味わいで心と胃袋を掴んで、このまちのみんなの風景であり続けてくれるのでしょ。

だるまや菓子店
本庄市児玉町児玉59
営業時間:8:30~19:30
(年中無休)
☎ darumaya_kasiten






eme
茂木 絵梨さん

子育ての過程で自らが移り変わりながら成長し
周囲と関わることで、まちに笑顔を増やしていく

児玉駅目の前にあるアクセサリーとリンパケアのお店「eme」。扉を開けると、キラキラと輝くアクセサリーが並び、奥には施術用のベッドが。異色の組み合わせに思えるお店の成り立ちには、店主である茂木絵梨さんの人生がぎゅっと詰まっています。

3児の男の子を育てる茂木さんが、最初に趣味で始めたのがアクセサリー作り。同じく子育て中だった友人と共に、ブランド名を決めてインターネット販売をスタート。その後、美容師の友人から誘われてマルシェ出店を機に、お客さんとやり取りできる対面販売の楽しさに目覚めます。二人目のお子さんの出産をきっかけに、夫の出身地である児玉地域に移住。周辺のお店にスペースを借り委託販売を本格的に開始したのち、オーダーメイドに対応できる自身の店舗を持つことを決意。約4年前、現在とは別の場所に最初の店を構えました。一方で、三人目の出産後から徐々に心身の不調で悩んでいた時に、リンパケアに出会います。体が楽になると実感したことから、オンラインスクールで本格的に学び、次第に家族や友人へ施術を行うように。こうして自身が理想とする「アクセサリーとリンパケアの両

方」を提供するお店に辿り着きました。

「児玉は地元愛の強い方が多い。年代問わず自分たちでまちを楽しくしようという雰囲気を感じます。あと、皆さん本場に優しいんです」と茂木さん。当初は自分はよそ者だと少し不安を感じていたそうですが、同じく児玉で店を営むソルフローズさんをはじめ、周リから声をかけてもらい徐々に交流の輪が広がり、気づけばコミュニティの一員になっていたと話します。「児玉の人はみんな本当に楽しそう。内向的な人もきつと外に出たくなると思います」。アクセサリーもリンパケアも、根っこにあるのは周りの人たちのリクエストや悩みに応えたいという気持ち。手にした自分の場所、ケアを通じて地域に貢献していきたいと語ってくれる茂木さんはまぶしく輝いて見えました。

eme / Lymph pear.

本庄市児玉町児玉2486-4

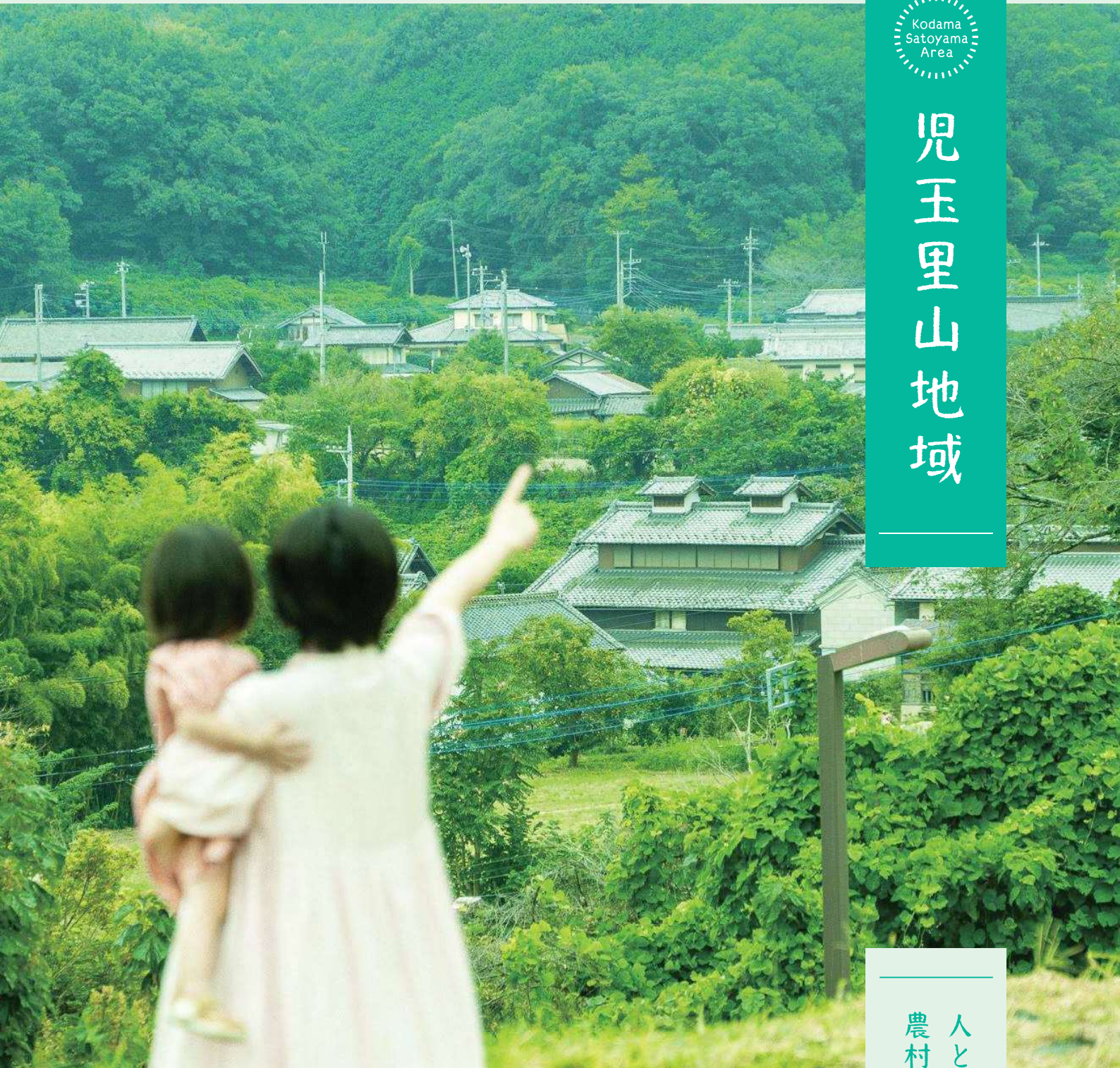
(不定休)

営業日はInstagramにて要確認

Instagram: @eme529eme
eri_lymph_pear



児玉里山地域



人と自然が共和する、
農村文化の営み

豊かな自然と歴史が息づく児玉里山地域は、心安らぐ本庄の原風景が広がるエリアです。養蚕業ゆかりの古民家が点在し、独自の農村文化を今に伝えています。

肥沃な土地と清らかな水に育まれた里山の豊かさを五感で感じながら、四季折々の自然に身を委ねてみましょう。

都会では味わえない心安らぐ時間が過ごせるはずです。





1

間瀬湖

東日本に残る最古の農業用重力式コンクリートダム。堰堤と堰堤管理橋は国の登録有形文化財です。春は桜、秋は紅葉と四季折々の美しい景色を楽しむことができ、ヘラブナ釣りの名所としても知られています。

住所：本庄市児玉町小平2237



2

ふれあいの里 いずみ亭

100%地元産の蕎麦粉で作る手打ちそばの店。自然豊かな本庄で育てた無農薬の「そば」は、種まき・乾燥・製粉から麺打ちまで全て手作り。顔の見える地元の新鮮・安全・安心な食材を使った料理を提供しています。

住所：本庄市児玉町河内209-1



3

成身院百体観音堂(さざえ堂)

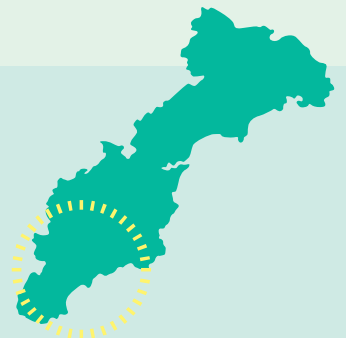
天明3年(1783)に起きた信州浅間山の大噴火の犠牲者を弔うために建立。外観2層、内部3層の回廊式になっている珍しい建築様式で、通称「さざえ堂」と呼ばれています。市の指定文化財です。

住所：本庄市児玉町小平661-2



こんな暮らしが叶う！

- ・訪れる人も暮らす人も癒される、豊かな里山で暮らす
- ・市民農園での収穫体験や狩猟体験を通して、里山の営みが体験できる
- ・美しい里山の景観を見ながらハイキングして、心身ともにリフレッシュ！





そば二松菴
片桐 正富さん

人生を遊びつくせる「半田舎暮らし」を選んだ「プロの遊び人」

山あいの道、車を走らせると現れる木造づくりの建物。踊るように筆で描かれた「そば二松菴」が目印のお店は、この地で生まれ育った片桐正富さんが立ち上げ、現在は息子さんが受け継いでいる蕎麦屋です。この味を目当てに、2時間ほどかけて遠方から通う人もいるほど。でもこだわりが強いのは蕎麦だけではありません。

お店に隣接する工房も含めて、なんとすべて店主である片桐さんが建物を自作。木や竹などの地元の材料で作った作品たちと工具が溢れる空間は、まさに大人の遊び場。これまでの創作の数々を披露して心底楽しそうに語るそのチャームポイントな人柄で、地域の人気者。小学生へのワークショップや、本庄市の高校生プロジェクト「七高祭」で高校生と共同企画をするなど、やまない郷土愛と溢れるアイデアで、里山エリアから本庄市を元気にする仕掛けを試みています。旧児玉町では小中学生向けの工作指導を32年間継続。高校生が下の世代へ教える縦の繋がりがづくりに情熱を燃やしています。

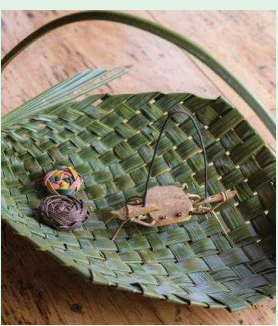
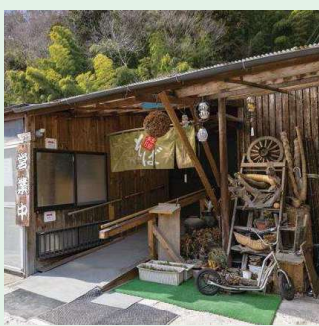
そんな片桐さんも実はリターン組。地元の高校を卒業し就職して以降、半導体工場の立ち上げを何件も担当するなど、国内外を飛び回り長期の単身赴

任生活を続けたそう。何十年も地元を離れ様々な土地を肌で体感するなかで、「半田舎暮らし」が自分にとって一番ちょうどいいと悟ります。技術屋としてのトップを目指して走り続けていた生活に区切りをつけ、50歳で早期退職。「今を楽しむ」と決めて実家である本庄市児玉の里山エリアに戻ってきま

した。都会と比較して家賃、駐車場負担が軽くなれば、自分のやりたいことにお金も時間も費やせるようになると片桐さん。都会からのアクセスマもよく、エリアによって個性豊かな本庄市だからこそ、「行ったり来たりしてるうちに、あ、ここだったら」って安心感が得られたら移住すればいい」と話します。片桐さんのように「自分で作る・遊ぶ」ことを暮らしの核に据えたい人にとって、本庄市の里山は格好のフィールドかもしれません。

そば二松菴
本庄市児玉町太駄1014
営業時間:11:00~14:00
(月曜・隔週火曜定休)

そば処 二松菴



tamatowafarm
柴山 斐子さん

小山川にかかる橋を越えたと広がる、ポツポツと民家と畑が点在する静かな山里地域。この風景に一目惚れし、縁もゆかりもない土地に単身飛び込んだのが、「tamatowafarm」(たまとわファーム)の柴山斐子さんです。農業・化学肥料不使用の自然栽培で作られた「こだま野菜」は、自然本来のしつかりした味わいが美味しいと評判。今では年間40種類もの野菜を作る柴山さんですが、以前は公務員やエンバーマー(遺体衛生保全士)という、農業とは全く異なるキャリアを歩んでいました。「こしをか考えられない」という直感で家を購入したものの、移住当初は借りられる畑の当てもない状態からのスタート。それでも、移住後わずか一ヶ月ほどで農業を始められたのは、地域の人の助けがあったからだといいます。きっかけは、地域の共同作業である「道普請(みちぶしん)」への参加でした。地区の班長が住民たちに「空いている畑を貸してあげてほしい」と呼びかけてくれたことで、自宅近くの農地を借りられることに。当初はトラクターなどの農機具もなく、鋤一本で土地を耕し、草刈りもすべて手作業。日々泥臭く土と向き合う姿を見た周囲の人

自らの嗅覚を頼りに新境地に飛び込み 作りたい暮らしを築く

たちから、ビニールハウスの提供を受けたり、知人を通じて中古のトラクターを譲り受けたり、持ち前のパイタリテイとポジティブさで乗り越えてきました。現在では野菜の栽培だけでなく、ジャムやクラフトコーラなどの加工品も手がけるまでに。栽培できる野菜の種類や量、味の研鑽を積み重ね、土壌検査など客観的なデータに基づいた農法への挑戦も進めています。「本庄市は人が穏やかで、横の繋がりも作りやすい。自分で何かを始めたい人にはすごく良い環境です」。先日は江戸時代から続く地域の伝統行事「東小平獅子舞」に女性の担い手として初めて参加したそう。この地にしっかりと根を張り、自らの人生を豊かに実らせている柴山さん。生き生きとした表情が、充実した日々を物語っているようでした。

tamatowafarm

※詳細はInstagramにて

📱 [tamatowafarm](#)



＼本庄を起点に／

どこにでも行けるMAP

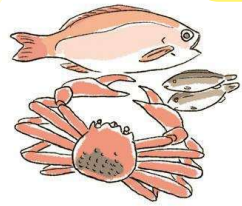
新幹線と高速道路を使えば、北へ南へ、都心にも田舎にも、どこにでも便利に行けちゃう本庄市。こんな過ごし方が叶います！

長野



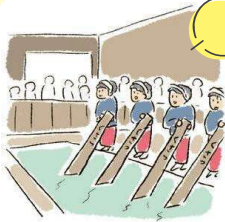
長野(佐久周辺)まで
気軽に日帰りでスキーへ!
(車で約1時間)

新潟



日本海で海の幸を堪能!
(新幹線で約1時間30分)

草津



日々の疲れは
草津温泉で癒す
(車で約2時間)

軽井沢



友達とふらっと
軽井沢でお買い物
(新幹線で約30分)

from
本庄市



湘南



車を走らせて
湘南の海へGO!
(車で約2時間)

羽田空港



羽田空港からどこにでも行ける!
(車でも電車でも約1時間30分)

東京



東京にある会社への
通勤もラクラク
(新幹線で約45分)

本庄市での暮らしをサポート!

本庄市では、子育て・起業・創業・移住を応援する支援制度もご用意しています。
記載の情報は一部ですが、より詳しい支援制度が知りたい方は、ぜひホームページをご覧ください。

0歳から18歳まで

医療費助成

(子ども医療費助成)

健康保険の適用となるお子さんの医療費(一部負担金)及び入院時食事療養標準負担額を助成します。

未就学児
(0歳から5歳児)

保育料 完全無償化

本庄市にお住まいで、未就学のお子さんが認可保育施設に在園している方が対象です。
他市町村の認可保育施設を利用するお子さんも対象となります。

子育て支援制度の詳細は
「本庄市子育て応援サイト」



子育て支援金

第1子・第2子 **2万円**
第3子以降 **3万円**

出生後、初めての住民登録が本庄市で、誕生日と申請時点において本市に住所を有している方が対象となります。

移住就業等支援金

最大
130万円
補助

東京23区内に在住(又は通勤)していた方が、就業・テレワーク等に伴って本庄市に移住した場合に限ります。



創業スタートアップ
支援補助金

最大
10万円
補助

市内で新たに創業される方、創業後1年未満の方の費用(備品購入費や広報費等)の一部を補助します。



中心市街地
空き店舗対策補助金

最大
50万円
補助

駅周辺の空き店舗を改装して、飲食店や小売店等を新規出店する方の改装費の一部を補助します。

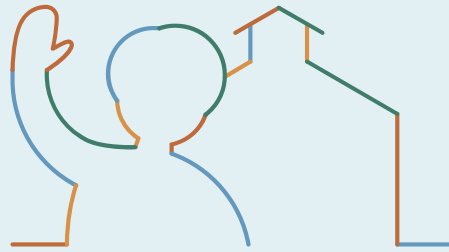


テラスバ本庄(本庄市インフォメーションセンター)

JR高崎線本庄駅直結のテラスバ本庄は、本庄市の観光案内や素敵なお土産品を販売しています。スタジオや飲食店、赤ちゃんの駅もあります。

住所: 埼玉県本庄市駅南2-1-4





どこにでも行けるけど、
ここにいたい。本庄

本庄市企画財政部シティプロモーション推進課
〒367-8501
埼玉県本庄市本庄3丁目5番3号
TEL:0495-25-1614

本庄市魅力発信サイト
「このまちで、暮らす理由」

